

## 令和4年度 第7回磐田市上下水道事業審議会 議事録

日 時：令和4年8月3日（水）午前10時00分から午前10時40分まで

会 場：磐田市福田支所 3階 第2～3会議室

出席者：委員6名

佐藤和美 委員、中野 純 委員、安間美恵子 委員、鶴藤美保子 委員、  
永井新次 委員、山下秀樹 委員

（欠席 2名 松下隆彦 委員、柏原典子 委員）

事務局（環境水道部長、環境水道専門官、上下水道総務課長、上下水道工事課長、  
上下水道総務課課長補佐、上下水道工事課課長補佐、上下水道総務課総務グループ  
長、上下水道工事課下水道工事グループ長、上下水道工事課施設グループ長、上下  
水道総務課担当）

傍聴者：0名（報道機関 1名）

進行：上下水道総務課総務グループ長

1. 開 会（省略）
2. 定足数の報告（委員総数8名中6名の出席により会議成立）
3. 会長あいさつ（省略）
4. 議 事  
（1）答申書案について

事務局から説明の後、次のような質疑応答がされました。

委員	7ページの下水道使用料の改定率についてですが、審議を重ねる中でという表現だけではなく、経費回収率を最終的には100%に上げるべきであること、一般会計繰入金を減らすべきであることなどを考える中で、使用料単価150円/m <sup>3</sup> を目標とすることを示したという表現を加えた方がいいと思います。
事務局	審議を重ねた内容について、より分かりやすくということで、具体的な表現を加えさせていただきます。
委員	6～7ページの経費回収率について確認させてください。公共下水道事業は現状約63%、農業集落排水事業は現状約45%とありますが、以前の審議会で頂いた資料では、公共下水道事業は64%、農業集落排水事業は46%となっていました。ほんの1%ずつですが、これはどういった違いでしょうか。集計元の資料や年度の違いでしょうか。

事務局	端数処理の影響となりますが、より正確な値として改めさせていただきます。また経費回収率は、令和2年度の数値となります。
委員	7ページの下水道使用料改定の必要性について、経費回収率は100%を下回る予測とあります。従来からそうですし、対象期間においてもかなり下回っているため、対象期間においても経費回収率が100%を大幅に下回る予測という表現が良いと思います。
委員	おっしゃられるとおり、急に下回ったと読めなくもないことから、従来から下回っていたという表現の方が分かりやすいと思います。
事務局	ご意見をいただいたとおり、対象期間においても経費回収率は引き続き100%を下回る、といった表現を加えても良いかと感じます。
委員	では、そのような修正を加えるということをお願いします。
委員	7ページの農業集落排水事業について、経費回収率の向上に取り組む必要があるとありますが、具体的にどういった取り組みをしていくのかを記載した方が、聞かれたときにも答えやすいと思います。
事務局	公共下水道事業では、収入増による経費回収率の向上が求められる、と記載しています。ご意見からすれば、農業集落排水事業も状況は変わらないため、具体性を求めるのであれば、同じように収入を増やしていくという表現を加えても良いかと感じています。
委員	8ページの下水道使用料体系の改定案について、「具体には」を「具体的には」に修正をお願いします。
事務局	ありがとうございます。修正いたします。
委員	それでは、今回出ました修正事項について確認いたします。下水道使用料の改定率について、審議を重ねた内容をもう少し具体的に示すこと。下水道使用料改定の必要性について、経費回収率は引き続き100%を下回る現状であるということ。農業集落排水事業について、経費回収率向上のための具体的な取り組み内容を盛り込むこと。下水道使用料体系の改定案について、「具体的には」に修正すること。以上の点を修正し、答申書案を作成していただきたいと思います。こちらの確認については、もう集まる必要も無いかと思いますが、いかがでしょうか。

事務局	よろしければ、修正後の答申書案を会長に確認いただいた上で、委員の皆様にも郵送で送らせていただく手順でいかがでしょうか。
委員	では、答申書案につきましては書面確認とさせていただきます。その他に事務局から連絡事項などあればお願いします。
事務局	今後のスケジュールを説明させていただきます。答申書案の修正及び確認が済みましたら、令和4年9月5日に会長と副会長に同席いただき、市長あてに答申書を提出させていただきたいと思いをします。
委員	<p>それでは最後になりますが、言い残したご意見などありますか。</p> <p>(委員から特に意見無し)</p> <p>終了</p>

5.その他(省略)

6.閉会(省略)